

7/24(土)まじじ! 倫理が、いよいよオリビウの最終が初対面
同じ草むしりでも草が生える場所によっての向類や課題が

今週の

倫理

7月のテーマ | 万象我師

2021. 7. 24~7. 30

1239号

違ってくる - 金で我師が示す。
幸せが下は息

「そろそろ車を買いたいな」と考えている人が、(あのニューモデルの車種がいいな)と意識すると、その車種が頻繁に目に飛び込んでくるといふことがあります。また(お腹が空いた。どこか美味しいお店はないかな)と考えながら歩いていると、いつもは、素通りしていた場所で、好みの飲食店を発見することもあります。

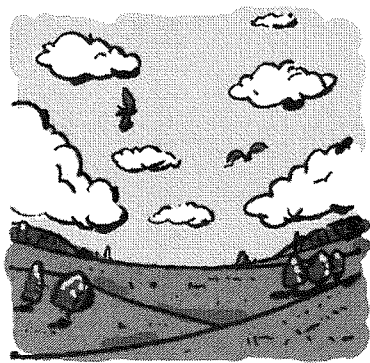
(気になる洋服がある)「ちよっと違った(ヘアスタイルにしたい)」など、ある特定の事項を意識することで、その事項に関する情報が自然と集まってくる現象を、「バーダー・マインホフ現象」もしくは「頻度錯誤」と言います。また、日本では、「カラーバス効果」という言葉を用いることもあります。

私たちは、特定の条件下において、様々な情報を取捨選択する能力を持ち合わせています。つまり、場面、場面で仕事や自己成長のヒントを得ることができるのです。そのヒントを見逃さないポイントとは、物事をどれだけ強く意識するかにあります。

▼

仕事で多忙を極め、家のことは妻に任せきりのAさんは、久しぶりに自宅の庭と周辺の草むしりをするにしました。庭の草むしりでは、花壇や芝生の隙間から生えている草を、手で引く張るだけで、すんなりと抜くことができました。

ところが、道路に生えている草は、手で引く張っても抜けないのです。そこで、鎌を使って、ほじくり出すように抜きました。抜いた草をよくよく見ると、庭と道路に生



日常生活の中にこそ 自己成長のヒントがある

えている草は同じ種類です。しかも大きさもほぼ同じです。しかしながら、道路に生えている草はアスファルトの亀裂の隙間から生えているため、茎と根がものすごく頑丈なのです。

Aさんは、(同じ種類の草でも生えている場所で、ここまで違うのか。道路の草は、なんて遅いんだ)と驚かされたのでした。それと同時に道路から生えている草をまじまじと眺めた際、自分自身の力も沸き起り、道路の草が自分の背中を押してくれるような感覚に陥ったのです。

それには理由がありました。Aさんの不注意で得意先に迷惑をかけ、上司からも叱られて、落ち込んでいたのです。

その時は、(ついてないなあ、誰がこの仕事を自分に振ったんだ)と他人への責め心と否定的感情が頭をもたげました。

しかし、時間が経過し、冷静になるにつれ、(仕事にも慣れが生じ、慢心している自分がいたのではないか)「起こるべくして起こったミスだったのでないか」と思い至りました。さらに、草むしりでの気づきと相まって、こうした問題や課題があるからこそ自分も成長することができ、またお客様に喜んでいただける仕事ができるのだと、気持ち切り替えることができました。

日常生活の様々な場面では、問題克服のヒントや、自己の成長につながる気づきを得られる機会が点在しています。

仕事に役立つことはないかとアンテナを張り巡らせ、何事にも邁進したいものです。